



JAあそだより

平成19年4月



一心行の大桜(南阿蘇村)



■今号20ページ主な内容

- 農業コンクール大会
- 野菜振興大会、花き品評会
- 長陽稲作部会研修報告
- JA全国青年大会報告ほか

▲阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

第48回県野菜振興大会

野菜経営コンクール 入賞者を表彰



表彰を受ける
西村北支・トメ子さん夫妻

気象災害に強く、高品質・低コスト生産、安全・安心な農産物の生産に取り組んでいる経営者や生産技術を開発して、今後の野菜経営の具体的モデルとして広く普及させることを目的に、第48回熊本県野菜振興大会(県野菜生産者大会)が3月1日、熊本テルサで開かれ、平成18年度県野菜経営コンクールの表彰が行われました。

J A阿蘇管内からは、野菜経営コンクール会長賞優賞に、アスパラガスを生産している西村北支・トメ子さん夫妻(阿蘇市)、野菜園芸功労者として甘藷栽培において大きな功労があった松浦茂次さん(西原村)、野菜園芸功労団体にJ A阿蘇中部トマト部会(山本誠也部会長ほか149名)が選ばれ、表彰状が贈られました。



県野菜振興大会開会式



野菜園芸功労団体表彰の
中部トマト部会の皆さん



野菜園芸功労者表彰の
松浦茂次さん



優賞の西村さん夫妻

熊本県花き品評会 島田和幸さんに 金賞と農林水産大臣賞

2006年度熊本県花き品評会表彰式と園芸功労者表彰式が2月22日、県花き事業協同組合「肥後花市場」で開かれ、金賞と農林水産大臣賞が南阿蘇村の島田和幸さん(トルコギキョウ)に贈られました。表彰式には生産者やJ A、行政など関係者約130人が参加しました。品評会の出品数は227点、審査委員長からは「圃場条件に応じた技術改善が花きの品質と経営確立に結びついている」と報告がありました。



金賞と農林水産大臣賞を受賞した
島田和幸さん

高森ピーマン部会播種 学生が阿蘇農業を勉強



ピーマン播種作業に参加した学生

J A阿蘇高森ピーマン部会は2月28日、部会員ら13人が参加し2007年産ピーマンの「京ゆたか」播種を高森育苗施設2haで行いました。播種作業には、近在の九州東海大学農学部応用植物学科の学生が「農家の技術や阿蘇地域の夏秋作物について、播種から植付、収穫まで体験し阿蘇の農業について1年間通して学びたい」と参加しました。当日、作業に参加した園芸貴紀君は「学校で実際にしている作業との違いがあり、実際に農家から学ぶことが多かった」と話していました。今後は鉢上げ作業などを通して育苗過程を見ていく予定です。

福岡パールライスを視察「安心・安全な米作り」に心新た

長陽稲作部会



平成19年度からの「品目横断的経営安定対策」を踏まえ、「売れる米づくり」と「品目横断的経営安定対策」の理解を深め、積極的に参加することを目的に長陽稲作部会（塚元秀典部会長ら会員14名）は2月9日、福岡パールライスを視察研修しました。

同部会は、生産調整をはじめとして早くから特別栽培米づくり等積極的に取り組み「売れる米づくり」を目指しています。年度事業においても年間3〜5回の役員会をはじめ、地肥診断現地講習会、適期刈り取りの実施、全量集荷活動、先進地視察研修、食味検査などの事業に取り組んでいます。

今回の研修は、平成16年から改正食糧法の改正の施行により「民間流通米」の時代を向かえ部会の目指す「売れる米づくり」の販路拡大も目的に行われました。

福岡パールライスでは「生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋」をモットーに「安心」を、①営農と生活を支援し元気な産地作りへの取り組み②安全で新鮮な国産農産物を消費者に届ける③地球の環境保全に積極的に取り組むの3つの視点で考え、取り組んでいます。また、工場では月間に一般精米1732t、無洗米634tがとう精されており、その8割が地元福岡県産米であり、残り2割の中に阿蘇コシヒカリも取り扱われ、品質管理においても品質検査基準が設けられ日々検査が行われています。

参加した部会員からは米の価格についての質問があり、「工場でとう精し製品にした段階でコスト削減に努め、利益を生もうと考えているが、大手量販店等の取引の価格は厳しい状況である」との説明がありました。今後、同部会では「研修の状況も踏まえ、米の価格の低値が続く中であつても、部会で早くから取り組んできた「安心・安全な米づくり」について、心新たに、今まで以上に取り組んでいきたい」と決意を新たにしています。

優秀SSを表彰 JA阿蘇SS油外 マッチレース

JA阿蘇は2月15日、昨年12月に開催したJA阿蘇SS油外マッチレースの表彰式を阿蘇市で行いました。このマッチレースは、JA・SSスタッフの接客・点検・技術サービスの向上並びにお客様（組合員）満足・従業員満足を図り、JA阿蘇SS経営の強化に資する目的に管内全SSを対象として開催されたものです。

表彰式では、後藤安弘担当常務が「これからもお客様への安心・安全の提供を」とあいさつ。結果報告が行われたあと、表彰が行われました。今回は計画対比の105%以上を達成したSSで柏・西原・馬見原・高森・黒川・久木野の6SSが受賞しました。



表彰を受けた各SSの代表者

農機推進技術コンテスト 設定時間内に商談成立：



第13回農機推進技術コンテスト大会が1月26日、合志市のJA教育センターで開催され、JA阿蘇からは農機担当者としての宮農機センターの岩下雄二職員と、農家役（補助者）としての山部勝久職員が出場しました。大会には各地から選ばれた11組が出場、設定された商談をテーマに、試乗・実演・展示会を通じて推進し、最後の契約を結ぶという段取りで競技が行われました。

岩下・山部の両職員とも設定されたテーマに沿って発表時間の18分以内で商談を行いました。

JA全国青年大会報告

JA阿蘇青年部会長 今村孝典

参加者：今村孝典、今村孝明（久木野支部長）、荒牧文博（長陽支部長）



JA全国大会の1コマ

◇全国青年大会

今回で53回目を迎えたJA全国青年大会は「懸れ智と結いのこころ」を大会スローガンに2月14・15日、東京日比谷公会堂で開催されました。

全国を6ブロックに分けて、各地区の予選を突破した強豪が1日目に「JA青年の主張大会」「JA青年組織活動実績発表全国大会」で熱意のある発表を行いました。「JA青年の主張大会」では、日頃の営農に対する思いやJA、JA青年部への意見・提言などを自分の言葉で方言などを交えて発表し、発表者の熱意が会場に伝わり、どの発表も素晴らしいものでした。

「JA青年組織活動実績発表全国大会」では、日頃の活動が報告され、その活動が地域の営農やJAに対してどのように影響しているかなどの発表があり、その取り組みの深さ・広がりにも驚かされました。

今回はJA阿蘇青年部の研修日程が重なったため、残念ながら大会2日目の日程には参加できませんでしたが、2日目の「1分間スピーチ」で菅原文太氏の講演「も是非聞きたかった」というのが正直な気持ちです。

私は今回2回目、2つの支部長と参加しましたが、本当であれば各支部より1名ずつでも参加していただき、全国各地の盟友の意見、青壮年部の活動内容を知り、この阿蘇の地でも様々な活動が展開されるようになればと感じています。



農林水産大臣室で
(写真左から今村孝明・荒牧・今村孝典の各氏)

今回の大会に熊本からは両発表ともにJA菊池の青壮年部が九州の代表として、両方とも最優秀賞を目指し参加し、内容も発表態度も素晴らしいものでした。「青年の主張」では最優秀賞を受賞しましたが、「組織活動実績発表」は東北・北海道ブロック代表のJA山形おきたまの青年部が千石興太郎賞を受賞しました。その内容は「東京米物語」と題して、支部の活動として東京の学校に向き米作りを指導して、体験させそのことで山形の農民と東京の子どもや視たちの交流が始まり、青年部の活動が食農教育のきっかけとなり広がっていくというものでした。

今、JAグループ、もちろん我々青壮年部も食農教育の大切さを訴えています。まさにそれを実践している素晴らしいもので、今後私たちがJA阿蘇でも参考になる活動内容だったと思います。

◇農林水産大臣室訪問

今回の全国大会にあわせて農林水産大臣室の訪問を計画したところ、大臣秘書の計らいで農林水産省大臣室の訪問が実現しました。本当であれば、大臣が力を入れておられる「バイオマス事業」について詳しくお聞きしたいと考えていましたが、残念ながら松岡大臣は予算委員会での質問を受

けるために大臣室には不在でした。それでも日本の農業の中核である農水省に入ることができたことは大変な喜びでありました。大臣室では記念の写真を秘書の方から撮っていただき記念になりました。



会場となった日比谷公会堂前で

JA全国青年大会に参加して

長陽支部長 荒牧文博

2月14日、8時20分熊本空港2階団体室に集合し簡単な出発式が行われた。熊本県より1ら3名が参加（内、JA青年の主張・組織活動発表とダブルで九州大会を勝ち残ったJA菊池が92名の参加）。JA阿蘇からは今村会長、久木野支部長、長陽支部長の3名が参加した。

羽田空港に到着し、JA菊池の貸切バスで他の参加者も日比谷公会堂まで移動。我々3名は所用のためモノレ

ールで移動した。

日比谷公会堂での全国大会では、まずJA青年の主張が行われ、全国各ブロックより6名の代表者が与えられた時間の中で自分の想いを参加者たちに訴えた。全国大会ともあり内容・態度・発表時間、どれもレベルの高いものばかりだった。特に発表時間の調整は減点の割合も大きいため、持ち時間の10分を有効に使い、オーバーしても0.04秒とか0.5秒と発表者の大会にかける意気込みと地道な練習の成果を感じた。

次に組織活動発表が行われ、全国的に食の安全と食農教育を中心とした活動が多かった。面白いところでは「魅力ある男性となるための勉強会」と結婚支援活動を行っているJAもあり、どの組織も農村の抱える諸問題を的確に把握し、組織ぐるみで解決していこうとがんばっている姿勢が伝わってきた。

1日目の日程終了後、赤坂プリンスホテルで県選出自民党議員との懇談会に参加した。阿蘇からの参加者3名は別々のテーブルに座り、私はJA八代のテーブルに座った。ちょうど昨年、熊本で行われた九州大会の時、知りあった盟友とも再会し、他の盟友とも交流ができた有意義な時間が過ぎた。

2日目は記念講演や審査発表、「食と農の共生パレード」と行われたが、

JA上川地区視察研修のため北海道へ向かった。新千歳空港到着後、今村会長の携帯電話に「JA青年の部でJA菊池が優勝した」と連絡があった。組織活動報告では惜しくも優勝は逃したものの、熊本、九州の代表として素晴らしい発表だったと思う。大会はJA菊池青年部の組織力の強さが印象に残る全国大会だった。

全国大会からJA上川地区視察研修とこの4日間、中身の濃い充実した研修を無事終えることができ、JA阿蘇をはじめ上川地区の盟友に深く感謝します。



JA上川地区盟友との意見交換会

JA阿蘇きらり

特技は
「お尻を突き出した
野球の背面キャッチ…」

南部営農センター事業課(蘇陽駐在)
後藤 志穂美(ごとう しほみ)
昭和58年11月生まれ(住所:南阿蘇村)



何故か、最近まで弟に「志穂みん」と呼ばれていた後藤さん。南部営農センターの職員として蘇陽中央支所で野菜の精算業務や未収金管理の業務を行っています。入組1年生ですが年間の業務の流れが分かり仕事も慣れ、職場は女性一人のため先輩職員もやさしく指導してくれるそうです(わがままを聞いてくれている…と本人)。

最近久しぶりに大声で笑った出来事があったけど、その理由が思い出せないように(若いのに…)。特技はスポーツで野球のバックテイクセンターで80kmのボールを撃つたり「お尻を突き出した野球の背面キャッチ」が得意とか。

動くことの好きな後藤さんですが低血圧で朝が弱い。でも朝早くから家事などとして働いている両親が尊敬する人。何でも前向きに考えきちんと食事をして毎日業務にがんばり、夜はDSゲームで脳年齢をテックしています。

今年の冬は「暖冬」だったので知人が作った「暖春」という言葉を広めたいとか?明るくおもしろい後藤さんでしたが、最後は意味がわからないまま取材終了です。





今年度から始まる新たな農業政策に対して、私たち青壮年部は進められていく内容は勉強してきました。しかし、その内容が進み始めると現実には営農がどう変わっていくのか、経営としてどのように進んでいくのかが見えていないという問題があります。あわせて進んでいくにあたりどのような問題が起こっているのかを知りたいという要望もありました。

そこで今回の研修では、すでに大規模な経営を営んでいる北海道のJA上川地区の盟友から今の経営形態、経営内容を聞き、私たちが目指さなければならぬであろう規模の大きい稲作経営

を勉強し、そこでの問題などを聞くことができればと企画いたしました。

◇対話による研修

JA東川の会議室において、板谷組合長の挨拶を頂いた後、JA上川地区青年部協議会前田晴雄会長をはじめ、役員7名と現在の阿蘇の状況、上川地区の現状の報告を行い会議に入りました。参加者が一同に驚かされたのは、なんとといってもその経営面積です。管内の水田農家の平均的な経営面積は約12〜13haくらいといとも簡単に言われ、経営の違いを現実と感じたようです。それも家族経営で機械化の進んだ形態です。

話していくうちに大規模は大規模なりの問題があり、やはり米価が下がりが続いていることです。今の米価ではかなり経営が難しくなっているとのことでした。更に荒廃地の問題が出てきつつあるとのことでした。後継者のいない農家では作業の受委託ではなく、離農していくところが多いが、買手はいないという現状で、規模が大きいために簡単には作業の配分ができていかないからとの説明でした。今より規模拡大するには法人化しなければならぬが、今の米価では見通しが立たないとも言われました。

◇現地視察

対話研修の後、近くにある農業法人「有限会社丸巳」を視察しました。経営面積240ha、役員6名、パート雇用約100名、経営種目14品目というところでもない規模の農業法人でした。

まず会社の概要を伺い、敷地内にある椎茸の菌床工場と椎茸菌床栽培のピニールハウスを見学しました。

この会社で夏場は様々な作物を露地で栽培していますが、雪に覆われる冬場は椎茸の菌床栽培とみづばのハウス栽培をしていますが、両方とも暖房してあるハウスでの栽培ですが、かなりの燃料を使って栽培されていますが、その椎茸がかなり経営的には儲かる品目だと説明を受けました。

ただ、ちよつと規模が大きすぎて、驚きの連続でした。



◇直売所見学

突然のことでしたが、前日の交流会に出席された元北海道青協会長の中原さんより「うちの直売所に来ませんか」とのお誘いに、研修時間などを考え伺うことにしました。そこは昨年オープンしたばかりの国道沿いにあるレストラン併設の直売所で、昼食もそこで飲み、特に中原さん手打ちのそばは大変美味しかったです。

直売所の名前は「ファーマーズマーケット「みつけもん市場」と言い阿蘇の国ジャージー牛乳と飲むヨーグルトがすでに販売されており、かなり人気があると説明されました。食事の後は、駐車場に用意された「スノーモービル」を体験し、北海道でしか体験できない遊びに皆満足した様子でした。ホームページのアドレスは<http://www.mikemon.jp>です。

◇感想

日程の都合で短い時間での研修になつてしまったのが残念でした。そんな中でも参考になることもありました。研修を始めるにあたってJA東川板谷組合長さんの挨拶の中で分かったことですが、出荷された米の販売を系統ではなく、各JAが行っているという点でした。熊本では個人販売は別として、ほと

んどが系統に流れていきますが、北海道ではかなりのJAで独自の販売をしているということでした。そのことで中央会との摩擦もあるが、農民のことを考えると系統に頼つてはよくないことも多いという言葉に感動すら覚えました。また現在オーストラリアとのFTA、EPAの問題で、農業団体は反対ばかりしているが、逆手にとつて利用する手だても考えていかななくてはならないのではないかと、君たち青年部にはそこも考えてもらいたい」との激励もいただきました。

研修の前夜に交流会を持った事で、研修会ではざつとばらんに話ができ、内音も深くまで突っ込むことができたように思います。このような日程の組み方も、知らない同士が話し合うには良い方法かとも感じました。

◇蛇足ですが

学生時代を北海道で過ごし、私は北海道研修を行うならば「冬がいい」と思っていました。それは厳しい寒さの中の暮らしを垣間見て、私たちの阿蘇は熊本では寒いと言われていますが、いやいやもつと寒いところで農業を営み、しかも私たちより収益を上げている人たちの経営だけではなく、人の考え方に触れてみたいという思いがありました。参加者一同がみなそこを感じたかどうか

は分かりませんが、雪の中を歩き、本当の寒さに触れ、大陸的な細かいことを気にしないおらかな性格が少しは感じられたのではないかと思います。

◇蛇足のおまけ

熊本の人は宣伝・情報伝達が下手だとよく言われます。その点北海道の商売上手を感じたこともありました。それはキャラクタークッズを見たときです。北海道に「まりも」という天然記念物がありますが、20年以上前は、まりものようなものを水に入れたものをよく売っていましたが、今ではそれがキャラクタークッズになり、思わず買ってしまおうようなぬいぐるみやTシャツになっていました。また食べ物も単に海産物や農産物ではなく、ジャガイモや牛乳が様々なお菓子などに生まれ変わり、先を争って買われていく品物になっていました。

我々は阿蘇のブランドに乗っかり、購買意欲に訴えかける商品の開発がいまいち上手にできていないように思います。やはり私たちもそのような阿蘇のブランドを生かした商品の開発や情報の発信を行っていく必要があると感じました。全国青年大会で千石興太郎賞に輝いた山形の青年部は午前2時に出発して東京の子どもたちと米作りをしています。我々JA阿蘇青年部もそういう活動に目覚める必要があります。

JA阿蘇女性部

「ふれあいの旅」178人が参加

平成18年度第3回JA阿蘇女性部「ふれあいの旅」が2月9日、10日の2日間行い、バス5台総勢178人が参加しました。

森昌子コンサート、門司港レトロ地区散策、下関カモンワーク、唐戸市場見学、そして泊まりはリツチに福岡シーホークホテルというスケジュールで行われました。

「ふれあいの旅」メインイベントともいうべき夕食を兼ねた懇親会では、各支部からの歌や踊りで会場は大変な賑わいで、あのクールなホテルマンが笑いをこらえている姿が印象的でした。

回を重ねることに楽しさも増してきています。今回参加されなかった部員さんの次回の参加を期待しています。

だご汁

1000食分

アツという間に完売!

3月4日、国立阿蘇青少年交流の家主催「みんなの広場 in A

税知識と正確な事務手続きを

源泉所得事務説明会

JA阿蘇は2月15日、源泉所得に関する事務説明会を二の宮中央支所で開き、担当者30人が参加しました。この説明会は税金に関する正しい知識の習得と正確な事務手続きの習得が目的です。

説明会では担当職員から所得税の源泉徴収の仕方の基礎的な説明があり、労働保険料の事務手続き、臨時労働者および季節的労働者に係る労働等に関する説明も行われました。

SOのイベントが開催され、JA阿蘇女性部役員でだご汁1000食を販売しました。

天気はよかったものの冷たい風が吹き、地元産の食材を使用した出来立ての温かいだご汁はアツという間に完売しました。

青少年交流の家からは、「次回もお願いします」とアプローチがあり、女性部の役員さんたちは「出来るときはいつでも引き受けます」と話していました。

理事会・監事会報告

■ 平成18年度第12回理事会

日時 平成19年2月27日 午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1.開会
- 2.組合長挨拶
- 3.協議事項
委員会報告(経済専門委員会)
1月末実績報告
1) 県常例検査回答書(案)について
2) 全国監査機構期中監査回答書(案)について
3) 旧郷の四季跡地の貸借契約について
4) 役員責任調査委員会設置・運営要領について
5) 役員報酬審議会規程の改正について
6) 内部監査規程の全部改正について
7) 経理規程の改正について
8) 事務引継規程の改正について
9) 就業規則の改正について
10) J A阿蘇肥育素牛供給事業実施規程(案)について
11) 日豪EPA問題に関する取組みについて
12) 生産資材代金決済サイト要領一部変更について
報告事項 久木野給油所土地取得について

■ 平成18年度第13回理事会

日時 平成19年3月27日 午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1.開会
- 2.組合長挨拶
- 3.協議事項
委員会報告(総務委員会・金融・共済専門委員会・
経済専門委員会・債権管理委員会)
2月末実績報告
1) 平成19年度事業計画書(案)及び5カ年計画書(案)について
2) J A活動総合3カ年計画について
3) J A住宅ローン「固定変動金利選択型」の優遇金利の
取扱いについて
4) 県下統一ローン融資要綱の新設及び改正について
5) 貸付金について
6) 貸付金償却案件について
7) 自己資本比率算出要領の制定について
8) アグリシステム機器更新に伴う機器購入について
9) 農政連及びWTO募金について

- 10) 平成19年度コンプライアンスプログラムについて
- 11) ポイント式退職金制度の導入について
- 12) 職員退職給与規程の改正について
- 13) 賞与支給規程の改正について
- 14) 証券取扱業務の内部管理態勢整備に伴う組織規程等の一部改正について
報告事項 平成19年度理事会日程について
報告事項 平成18年度決算棚卸予備監査の実施について
報告事項 平成18年度決算事務監事監査日程について
報告事項 平成18年度下期内部監査報告について

■ 平成18年度第8回監事会

日時 平成19年2月13日

場所 本所会議室

- 1.開会
- 2.挨拶
- 3.議題
1) 監事会規程の全部改正及び監事監査規程の改正(案)について
2) 平成18年度導入家畜等棚卸監査報告(案)について
3) 平成18年度県常例検査回答書及び
全国監査機構期中監査回答書の提出について
4) 平成18年度全国監査機構資産査定監査実施について
5) 平成18年度決算棚卸予備監査実施(案)について
6) その他

■ 平成18年度第9回監事会

日時 平成19年3月16日

場所 本所会議室

- 1.開会
- 2.挨拶
- 3.議題
1) 平成18年度全国監査機構資産査定期中監査報告について
2) 平成18年度資産査定監事監査報告書(案)について
3) 平成18年度決算事務監事監査実施日程及び
人員配置(案)について
4) 平成18年度決算棚卸予備監査実施について
5) 平成19年度監事監査計画及び内部監査計画(案)について
6) 役員責任調査委員会設置に伴う委員選任について
7) 平成18年度下期内部監査報告について
8) その他

Dr. やまさん



お知恵拝借

最近、おなかが出てきませんか？



あなたのBMIはいくつですか？

BMIとは「肥満指数」「体格指数」とも言われ、身長と体重から簡単に計算できます。まずは、あなたのBMIを計算してみましょう。BMIはつぎの計算式で計算できます。

$$BMI = \frac{\text{体重 (kg)}}{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}}$$

日本肥満学会が決めた判定基準では、統計的にもっとも病気にかかりにくかったBMI 22を標準とし、25以上を肥満として、肥満度を4つの段階に分けています。

BMIが
25以上の人

BMIが「25」を超えたら危険信号！

BMIが高くなると、**高脂血症**や**高血圧**、**糖尿病**などの生活習慣病にかかりやすくなるのです。

肥満度の判定基準(日本肥満学会 2000)

	BMI
低体重(やせ)	18.5 未満
普通体重	18.5 以上 25 未満
肥満(1度)	25 以上 30 未満
肥満(2度)	30 以上 35 未満
肥満(3度)	35 以上 40 未満
肥満(4度)	40 以上

肥満でいちばんこわいのは、命にかかわる多くの生活習慣病のもとになりやすいということです。また、日本人は、欧米に比べるとBMIが比較的小さくても糖尿病などにかかりやすいことがわかっているのです、油断できません。

肥満症は、どんな健康障害があるのか、肥満度がどのくらいか、内臓脂肪と皮下脂肪のどちらが多いのかなど、病気のタイプや特徴が一人ひとり違います。

自分の場合にはどんな治療が必要なのか、主治医と十分に話し合いをして、納得して治療を受けましょう。



自分でも出来る健康チェック



熊本県厚生連診療所

所長 中山 茂樹

TEL 096 (328) 1250 FAX 096 (328) 1258



2007年度JA阿蘇新規採用職員の研修会が2月20日、一の宮中央支所で開かれ13人が参加しました。先ず工藤寛明参事をはじめ先輩職員が自己紹介。その後、緊張した中、新入職員はしっかりとした口調で自己紹介を行いました。工藤参事は「社会人として職場のルールに従い、仕事に取り組んでほしい」とあいさつ。研修では事業全般についての基礎的な事項や入組手続の説明、就業規則、コンプライアンス、目標管理制度など説明が行われました。

(写真は研修会に参加した新入職員)

平成19年度 新入職員プロフィール



① 園田 真治

これからJAの職員としてしっかり自覚を持ち、早く顔と名前を覚えて頂くよう頑張っていきたいと思います。組合員の方々には、もっと阿蘇を好きになってもらうよう精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。



② 高橋 優賢

社会人としての自覚を持ち、少しでも多く地元の力になれるよう精一杯頑張っていくので、4月からよろしくお願いします。



③ 末藤 裕貴

早く仕事を覚え、JAのために力を尽くせるよう、勉強と努力で頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。



④ 上田 裕樹

出身地は違いますが、大好きな阿蘇で思う存分、努めていこうと思います。



⑤ 渡邊 秀俊

阿蘇の皆様にごできるだけ顔と名前を覚えてもらえるよう一日一日を大事に頑張っていこうと思います。よろしくお願いします。



⑥ 高野 大輔

早く仕事を覚えるように努力するとともに、JAの発展、そして地域の発展に少しでも貢献できるように頑張りたいと思います。



⑦ 高村 龍司

これからJA職員の一員として、地元の阿蘇に貢献していきたいと思います。阿蘇の地域発展のために一生懸命努めていきたいと思っています。



⑧ 犬飼 博臣

私は阿蘇が地元なので頑張りたいと思います。



⑨ 武田 陽平

色々な事に積極的に取り組んでいき、農家や組合員の方々の要望に応えられる様、頑張っていきたいです。



⑩ 川津 勝

早く仕事を覚えたいです。



⑪ 勝木 久美子

早く仕事を覚えて、皆様に貢献できるように一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



⑫ 川津 剛士

常に向上心を持ち、農家のため、地域のためになるよう頑張っていきます。



⑬ 松岡 恵央

JAの新入職員として自覚を持ち、一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

米作り農家の皆様へ

19年産から、担い手を対象に、米などの収入減少に対する補てん対策（収入減少影響緩和対策）がはじまります。

現行対策よりメリットが拡大

現行の稲作所得基盤確保対策（稲得）及び担い手経営安定対策（担経）に比べて、メリットが拡大します。

- ☆ 対象品目が拡大（米、大豆に加え、麦、てん菜、でん粉原料用ばれいしょも対象）
- ☆ 農家の拠出負担割合が大幅に軽減
 - ① 農家と国の拠出負担割合は、約1：2から1：3に見直し
 - ② 拠出金の残額が当年産の拠出金額の2倍以上ある場合、当年産の拠出を休むことが可能
- ☆ 拠出金は、「掛け捨て」ではなく、必ず返ってきます。

加入手続について

収入減少影響緩和対策には、4月1日からの品目横断的経営安定対策の加入申請の際、対象品目の生産予定面積を申告するだけで加入できます。

補てん金の対象となる米の範囲

補てん金の対象となる米は、生産数量目標(農業者間調整等後の確定数量)の範囲内で、農産物検査3等以上のものであって、次のものが対象(種子は除く)。

収穫年の翌年3月31日までに、

- ① JAや集荷業者に出荷したもの
- ② 消費者等と販売契約を結んだもの(農家が消費者等に直接販売する場合は、販売価格が市場動向を反映して設定されていることが必要)

拠出金について

☆ 拠出金については、加入手続後、農政事務所等から額が通知され、7月31日までに指定口座に入金していただくことになります。

☆ 拠出金は、都道府県地域・対象品目ごとの10a当たりの標準的な収入額により算出。

$$\left[\begin{array}{l} \text{拠出金の額} \\ = \text{対象品目ごとの10a当たりの標準的な収入額} \times \text{生産予定面積の合計} \times 2.25\% \end{array} \right]$$

☆ 例えば、10a当たりの標準的収入額が14万円の場合、4haの農家の拠出金は13万円。

補てん金について

☆ 例えば、10a当たりの標準的な収入額(14万円)が19年産で10%減収した場合、生産面積4haの農家の収入減少額は56万円。

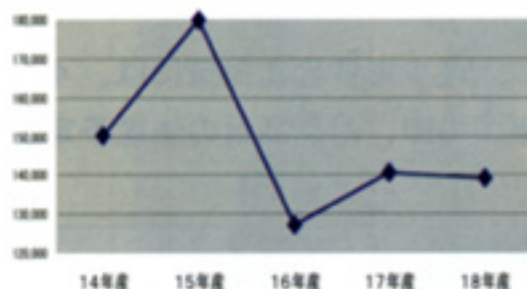
(注) 生産面積=補てん金の対象となる数量÷都道府県地域の実単収

☆ この場合、補てん金は50万円(このうち、38万円は国からの交付金)。

(参考)A県の最近の10a当たり収入額の状況

年産	14	15	16	17	18(暫定)
販売価格(50kg)	16,065	20,390	15,646	14,698	14,537
実単収	561	530	487	575	574
10a当たり収入額	150,208	180,112	126,993	140,856	139,071

(注)販売価格は、コメ価格センターのA県産銘柄米札加量平均価格(18年産は18年12月末現在)



補てん金の算定方法

標準的収入額と当該年の収入額の差額の9割について、農家の拠出金と国の交付金により補てんします。

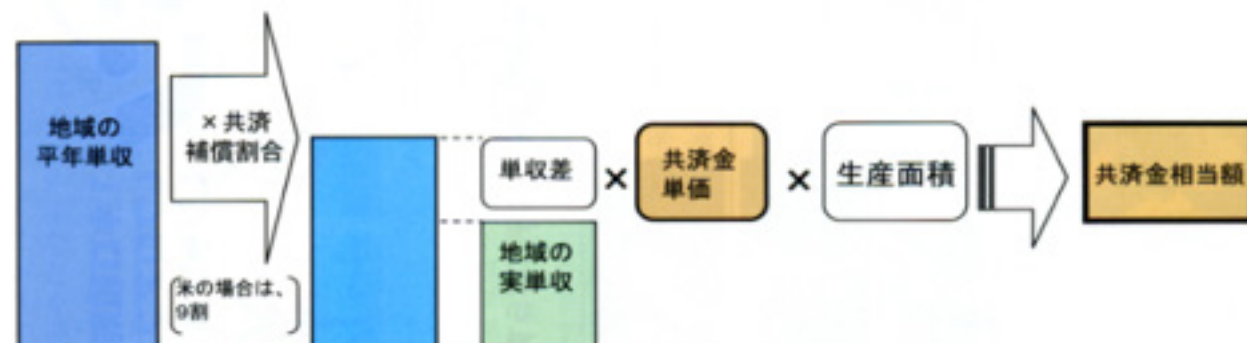


共済金相当額の算定

自然災害等による一定以上の収量の減少があった場合には、農業災害補償制度による補てんがされる場合があります。

このため、収入減少影響緩和対策では、地域で農業災害補償制度の補てんが見込まれる場合には、共済金相当額を算定し、その額を控除します。

なお、共済金相当額は、農業災害補償制度の全相殺方式の最高補償割合（米は9割）のものに加入していることを前提に算定されます。この点に留意して、農業災害補償制度を積極的に活用することが重要です。



ミスターホームランシリーズは全国で一審使用されている初中期一発処理除草剤です

JA阿蘇特別栽培米用除草剤

農林水産省登録
第209334号
第204555号
第207444号

水稲用一発処理除草剤

1キロ粒剤51
シロアナル
レジヤンボ



- ノヒエに対する効果が長く続くので、後発生による手取り作業を軽減できます。
- 3つの有効成分の働きにより、水田の幅広い雑草に安定した効果を示します。



■使用上のポイント

*本剤除草剤は稲の根に薬剤が直接触れる条件では、稲が枯れる場合があります。
本剤は、有効成分の特性上、その症状が目立ちますので、使用にあたっては再度使用上の注意を確認のうえご使用ください。

<p>1. 耕起・代かきは田面が均平になるように丁寧に行ってください。</p>	<p>除草剤使用にあたっては重要なことなので、よろしくお願いたします。</p>	 <p>均平にならず</p>
<p>2. 除草剤散布後の<u>補植</u>はできません。</p>	<p>補植苗の根が薬剤の処理層に当たり、稲が枯れる場合があります。</p>	<p>散布後の補植層 (散布19日後)</p> 
<p>3. 極端な浅植えは避けてください。 浮き苗がないように、ゆっくりと植え付け作業を行なってください。</p>	<p>薬剤が稲の根に当りやすくなります。</p>	<p>浅植部分 (散布15日後)</p> 
<p>4. ジヤンボ剤、フロアナル剤は田面が露出している場合、<u>藻</u>などの浮遊物が多い場合は<u>拡散しない</u>ので、ご注意ください</p>	<p>散布周辺部の薬剤濃度が高くなり、稲が枯れる場合があります。</p>	<p>浮遊物上に散布 (7月29日午後)</p>  <p>シヤンボ剤</p> <p>散布30日後</p> 

5. 使用薬量を守り、過剰散布、二度撒きにならないように注意してください。
6. 代かきから田植えまで、湛水状態を保ち、土の戻りが悪いことにより植え穴が残らない様な水管理を行ってください。
7. 除草剤散布はなるべく、稲苗の活着後に行ってください。
8. 軟弱徒長きみの前は、活着が遅れるため、薬量のおそれがあります。
9. 風が強い時は、吹き寄せなどの影響を受けるので散布を控えてください。

*散布にあたっては水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3～4日間は湛水のまま状態を保ち、散布後7日間は湛水、かけ流しはしないでください。

水稻除草剤（1キロ粒剤）と箱処理剤の誤使用に注意しましょう！

いもち病
白葉枯病に

箱処理剤の使用法

- ①つゆを落とす
 - ②育苗箱の上から均一に散布する
 - ③葉についた薬剤を払い落とす
 - ④軽く散水する
- ※田植機積込時にこぼれないように



箱処理剤

使用量 育苗箱1箱当り**50g** 厳守！

育苗箱には絶対、
散布しないで下さい！



除草剤

(箱処理剤ではありません)

JAプレゼンツ
第2回
アイデア料理
コンテスト
キリンビールに合う熊本産の「牛肉」と「旬の野菜」を使った料理

自慢の
お手軽

旬の熊本を
もつと
美味しく。



キリンビールに合う熊本産の「牛肉」と「旬の野菜」を使った
あなたのアイデア料理のレシピをお送り下さい。

【応募規定】●熊本産の「牛肉」(「黒毛和牛」または「赤牛」等)と「旬の野菜」(「アスパラ」「ナス」「タマネギ」「ピーマン」「ゴーヤ」の中から一品以上お選び下さい)を使用したキリンビールに合う手軽に作れる自慢のアイデア料理を募集します。●裏面の応募用紙に料理のタイトル、料理の写真、材料(4人分)、作り方、料理のアピール、住所、お名前(フリガナ)フルネーム、年齢、電話番号を御記入のうえ、ご応募下さい。●料理の所要時間は、1時間とさせていただきます。●材料費は4人分3,000円以内でお願いします。(牛肉はバラ・モモ・カタをお使い下さい)●一般家庭で、誰でも作れる料理とします。

【応募資格】●性別問わず、年齢20歳以上の方。●二次の実技審査に参加可能な方。
【選考方法】●一次審査は書類審査といたします。審査通過の方には、お電話にてご連絡させていただきます。●二次審査(実技、試食)において厳正な審査を行い、最優秀賞1名、優秀賞2名、JAグループ熊本賞1名、キリンビール賞1名を選出し、賞品を差し送ります。さらに、二次審査に参加の方にはもちろんキリンビールとJAグループ熊本から賞品をプレゼント。※お一人何点でも応募可能です。
【応募方法】裏面の応募用紙に必要事項を明記し、作品の完成写真を貼付のうえ、「アイデア料理コンテスト」事務局宛にご応募下さい。

【締切日】5月21日(月) ※当日消印有効
【二次審査日程】●平成19年6月9日(土)11時~14時 ●会場/西部ガスキッチンスタジオ(熊本市市政町1-26(下通沿い)日吉屋ビル3F) ●二次審査には、マスコミ各社が取材に来られますので予めご了承下さい。

キリンビール(株)熊本統括支社は地域の作物を地域で消費する「地産地消」活動を応援しています。

応募先 〒860-0842 熊本市南千反畑町2番3号
JA熊本中央会 農政広報部「アイデア料理コンテスト」事務局行

※尚、応募用紙はJA熊本中央会またはキリンビールホームページよりダウンロードできます。
<http://www.ja-kumamoto.or.jp/> <http://www.kirin.co.jp/kumamoto/>

- ◎主催/ JAグループ熊本
KIRIN キリンビール株式会社熊本統括支社
- ◎協力/ 西武ガス 熊本支社
- ◎後援/ 熊本日日新聞社・熊本放送・テレビ熊本・熊本県民テレビ・熊本朝日放送・エフエム熊本

※お客様の個人情報をお客様の同意なしに第三者に提供することはできません。【法令等により開示を求められた場合を除く】お客様の個人情報はJA熊本中央会農政広報部にて管理させていただきます。お客様の個人情報はポスター、決選審査、商品の発送、二次審査の通知、レシピの新着情報、レシピの電子への掲載等に使用し、お客様のご了承なく、他の販促活動に利用することはありません。●キリンビールに関するお問い合わせ/ JA熊本中央会 農政広報部「アイデア料理コンテスト」事務局 TEL:096-328-1016(受付時間 平日9:00~17:00)



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく、ほどほどに。のんだあとはリサイクル。

